

令和6年1月15日

名古屋市長 河村たかし 様

令和6年度 予算編成に対する要望

減税日本ナゴヤ

団長 豊田かおる

コロナ禍をようやく乗り越え、私たちは生活や経済の再生に向けて動き始めつつあるが、物価の高騰は市民生活や事業活動に深刻な影響を及ぼしている。

一方、コロナの5類移行で国内外からの人流が回復し、名古屋の観光においても回復傾向がうかがえる。名古屋城天守閣の整備をはじめ、より一層魅力のあるマチづくりに取り組むべきと考える。

そのような中で、令和6年1月1日、石川県能登地方を震源とした地震により甚大な被害が発生した。本市としても被災地支援は当然のこと、今後発生するとされている南海トラフ巨大地震や風水害対策に引き続き全力で取り組んでいく必要がある。

このほか、「日本最高の福祉」や「一人の子どもも死なせないナゴヤ」の観点から、市長に対する再要望をまとめた。令和6年度予算案に、これらの要望事項をぜひとも反映していただくよう強く要望する。

局名	事項	考え方	令和5年9月11日予算要望内容
防災危機管理局	7. 災害時における広報・広聴活動の推進 (P.5)	④	4-4. 災害時の情報収集の手段となり得る同報無線や市公式ウェブサイト、SNS や「きずなネット防災情報」の活用方法が周知されているか確認し、不備があるのであれば、周知方法を見直すこと。また、X (旧 Twitter) ハッシュタグによるこれまでの本市の被災状況を効率的に収集できる手段についても広報し、防災教育に努めること。(P.5)
観光文化交流局	56. 名古屋城天守閣の整備 (P.37)	⑤	1-1. 名古屋城天守閣の木造復元事業を推進すること。その際、木造復元事業の進捗は、有識者や文化庁と綿密な協議を行い、本市として石垣について十分に対処することを前提として進めること。また、事業のスケジュールについては、関係各所と調整のうえ、工程を再構築し、市民の理解を得られるように努めること。(P.22)
健康福祉局	21. バリアフリー整備相談支援事業 (P.45)	⑤	4-6. 福祉都市環境整備指針に基づきバリアフリー化を進め、建築物などの設計の初期段階から、障害のある方にも参画していただく仕組みづくりを検討し、高齢者や障害者をはじめ、すべての人にやさしいまちづくりを進めること。(P.34)

	32. 緑内障啓発事業 (P.46)	④	8-2. 緑内障、加齢黄斑変性症などの早期発見や予防につなげるため、専門家の意見や他都市の先進的な事例を調査・研究のうえ、40歳以上の市民に対する定期的な眼科検診の実施を検討すること。(P.37)
	40. 子ども・若者の自殺危機対応チームの設置 (P.48)	④	7-1. 自殺対策事業の実施にあたっては、引き続き「いのちの支援なごやプラン」や副市長をトップとする自殺対策推進本部会議、庁内連絡会の開催等を通じた関係局との連携により、各相談機関の連携強化や情報共有を図るとともに、自殺者数の多い中高年男性や近年自殺の問題が深刻化している若年層、女性の自殺を対象とした啓発事業や相談事業等の推進に努めること。(P.36)
交通局			3-2. 宅配受取ロッカーについて、利用者へのサービス向上の観点から、既設置駅における需要を検証のうえ、引き続き地下鉄駅構内への増設を検討すること。(P.58)